

焼津市

産学官連携で研究開始 公共施設のDB構築

焼津市は、市が保有する公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進するため、2014年度に産学官連携による「公共施設アータベース構築共同研究」を実施する。2日

に共同研究事業に関する調印式を開いた。事業は全国の自治体で初の取り組み。公共施設の一元的な現状を把握するとともに、維持管理の全体最適化に向けた調査

・研究が目的。道路や橋梁インフラ、上下水道、建築物の二元管理のための統合アータベースを構築し、公共施設の管理指標、維持管理の全体最適化などを研究していく。焼津市（資産経営課、施設所管部局）、オリエンタルコンサルタンツ中部支店、名古屋工業大学が連

携する。期間は15年3月。市では、長期的視野に立った老朽化対策、トータルコストの縮減・平準化、計画的な点検・診断をまとめ、この中に将来のまちづくりを見据えた人口の見直し、公共施設の利用状況、維持管理経費などを盛り込んでいく方針。